

私立大学図書館協会2008年度東地区部会総会 議事要録

日 時:2008年6月13日(金) 10:00~11:50

会 場:玉川大学 玉川学園講堂

開会の辞	司会者(会場校)玉川大学図書館	野澤 義隆
開会の挨拶	部会長校 帝京大学メディアライブラリーセンター館長	坂井 達朗
挨拶	会長校 中央大学図書館事務部長	富田 和正 (図書館長代理)
挨拶	会場校 玉川学園理事長・玉川大学学長	小原 芳明
議長選出	司会者(会場校)玉川大学図書館	野澤 義隆
開会宣言	議長 国際基督教大学図書館長代行	畠山 珠美

開会の辞、挨拶に続き議長の選出が行われ、議長が開会を宣言した。

議長より部会総会に先立ち、出席校が会則(私立大学図書館協会会則第24条)の定足数に達し部会総会が成立した旨の報告があり、議事進行に入った。

<部会成立状況>(6月13日 10:00時点)

加盟校数 :252校

(部会成立に必要な校数は252校の過半数=126校以上)

出席校 :85校

委任状提出校 :147校

合計 :232校

引き続き、新規加盟申請のあった下記2校の紹介がなされ、拍手で了承された。

なお、加盟申請2校については、9月に國學院大學で開催される私立大学図書館協会総会にて承認された後、正式加盟になる旨の報告があった。

LEC 東京リーガルマインド大学(2008年2月4日申請) 欠席

東京未来大学(2008年4月1日申請) 出席

議 事

報告事項:

議長より、全ての報告事項の報告の後、纏めて質疑応答に入りたい旨の発言があり、了承された。

1. 2007年度 東地区部会会務報告及び研究部活動報告

部会長校帝京大学(南)より資料(p.5-17)に基づき、2007年度東地区部会会務報告があった。引き続き、研究部担当理事校東京経済大学(丸本)より、資料(p.18-22)に基づき、研究部活動について報告があった。

2. 2007年度 協会関連報告

部会長校帝京大学(南)より、資料(p.23-34)に基づき、協会会務報告、委員会報告として協会賞審査委員会、研究助成委員会、国際図書館協力委員会、ホームページ委員会の報告があった。引き続き、資料(p.35-39)に基づき、2007年度協会関連報告として国公立大学図書館協力委員会、日本図書館協会関連、評議員会、その他後援・共催事項についても併せて報告された。

資料修正 (p.37): 3) 評議員会 (3) 評議員会

3. 2008年度協会委員会及び協会関連団体等委員

部会長校帝京大学(南)より、資料(p.40-42)に基づき、2008年度役員校および委員会について報告があった。

4. 私立大学図書館協会組織図

部会長校帝京大学(南)より資料(p.43)に基づき、私立大学図書館協会組織図について、組織として変更はないが、従来より見やすく作り直した旨報告があった。

< 質疑応答 >

質問:協会関係会務報告での報告事項で加盟校数の報告があったが、未加盟校の数は東西それぞれで何校くらいあるか。(明治大学 大野氏)

回答:東西合わせて私立大学数 574 校中、加盟校は 506 校。加盟率は9割弱の加盟。東西を分けた未加盟校数の正確な数字については現在確認できないが、東西ともに9割程度の加盟と把握している。(帝京大学 中嶋氏)

議長:詳しい数字がわかったらお知らせいただきたい。

以上、報告事項について、拍手で了承された。

協議事項:

議長より、協議事項については2007年度決算報告関係と2008年度事業計画・予算関係とに分けて協議していきたい旨の発言があり、了承された。

1. 2007年度東地区部会決算報告及び監査結果

部会長校帝京大学(南)より、資料(p.47)に基づき、2007年度東地区部会決算報告の説明があった。

2. 2007年度東地区部会研究部決算報告及び監査結果

研究部担当理事校東京経済大学(丸本)より、資料(p.48)に基づき、2007年度東地区部会研究部の決算報告の説明があった。

1.2.を受けて、監事校駒澤大学(佐藤)より、東地区部会決算および東地区部会研究部決算について監査の結果、両決算ともに適正に執行されているとの監査結果が報告された。

以上、協議事項1.2.について、拍手で承認された。

引き続き議長より、2008年度事業計画案・予算案について協議を行う旨説明があった。

3. 2008年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)

部会長校帝京大学(南)より、資料(p.49-50)に基づき、2008年度東地区部会事業計画(案)及び予算(案)について説明があった。

4. 2008年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)

研究部担当理事校東京経済大学(丸本)より、資料(p.51-52)に基づき、2008年度東地区部会研究部活動計画(案)及び予算(案)について説明があった。

<質疑応答>

質問:事業計画について、職員数減やアウトソーシングなど危機意識が高まっているが、それを脱却するための取り組みが見えない。具体的には

P.49 1.事業計画

(1)東地区における私立大学図書館協会の活動推進

協会ホームページ運営における支援協力の活性化、研究活動助成など各種取り組みを成功させるための活動

(4)相互協力活動の推進

各種図書館間の情報交換及び協力活動の推進

(5)部会運営の効率化

図書館職員数減少など参加館の実情に合わせた部会運営の見直し

以上3点が今期の重点課題と思われるが、これらに関する具体的なイメージや計画について教えてほしい。また、これらがp.50の予算案にどのように反映されているのか教えてほしい。(立教大学 牛崎氏)

回答:各大学の名簿等、協会で作成したものについて配布、管理をホームページ上で行う、また情報等は郵送等をなるべく行わずにHPを通じて得る方向にしていきたい。一部名簿等についてはそのような取り組みを始めている。

部会長校諸業務を行った上での経験から、少人数での部会長校業務運営は厳しいところがある。業務を簡略化する取り組みができないものかと考え計画項目としたが、具体的な企画とはなっておらず、予算に反映するには至っていない。

相互協力活動の推進についても、HPを使った図書館間情報交換、相互協力の活動を行いたいというイメージはあるが、具体的な企画には至っていない。

(帝京大学 中嶋氏)

今後も職員数減が想定される中で役員を引き受けることになる大学も多いが、予算案での予備費を事務費やアルバイト経費として活用できるように提案したい。役員校全体としてもそのような部会長校の苦衷があればそうしてしかるべきではないか。予備費290万円を有効に活用してほしいと思う。精神はあっても具体的な企画がないという厳しい状況は、現役員校だけではないと思われる。会長校はじめ常任幹事会等で今後の私立大学、大学図書館の連携・協力活動について知恵を出してほしい。(立教大学 牛崎氏)

議長:意見を今後の活動に活かしてほしい。

質問:研究部について、協会活動を盛り上げることは、会長校はじめ常任幹事会、東西合同役員会のリーダーシップにあずかっていると思うが、研究分科会の活動について、廃会2分科会については致し方ないとして、今期13分科会の参加者数について、少人数では体をなさないと思われるため、例えば分科会数を減らし、大きくまとめるなど研究部役員で次期に向けた検討をしてほしい。(立教大学 牛崎氏)

回答:分科会の再編は基本的には考えていないが、提案事項がある。次期に向けて7月の研究部運営委員会で提案し、来年から進めていけるよう企画していることがある。

(東京経済大学 丸本氏)

質問:決算書類について、事業案に関しては2008年度から2007年度を差異で引いているため、

実額が反映されている。このように会計帳票を作るのであれば、2007年度の決算報告書の差異が A-B ではなく、B-A で作るべきではないか。そうしないと、決算報告書上の次年度繰越金があるにもかかわらずマイナス表記になってしまう。プラスと考えなければいけないのではないか。収入の部についても同様に B-A とした方が、次年度会計処理として適正に表記されるのではないか。(亜細亜大学 安田氏)

回答:ご指摘の通りである。決算報告書の作成方法について監査にあたる時点で確認をしたが、これまでの方法を尊重、処理を踏襲して監査を行った。監査は厳しく行ったが、証拠書類等、会計の運営状況は適正に行われていた。会計報告と合わせて今後検討していくべきことと思っている。

(駒澤大学 佐藤氏)

以上、協議事項3.4.について、拍手で採択された。

承合事項

提出なし

懇談事項

提出なし

その他

なし

以上、全ての議事が終了し、議長が閉会を宣言した。

以 上